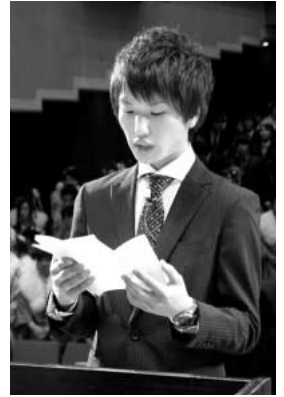


成人式

1月14日(成人の日) 総合センター大ホールで成人式が行われ、356名が晴れて大人の仲間入りをしました。式典では、新成人を代表して、嶋崎脩吾さんが成人の誓いを力強く述べました。



河合杏奈さん
(伊奈中学校)

本日、晴れて成人式を迎えることができたことを心からうれしく思います。小中学校でともに過ごした仲間と久しぶりの再開を果たし、懐かしい気持ちでいっぱいです。ふと思い出すと、この仲間たちとのさまざまな思い出が蘇ります。成人を迎えるまでの20年の内、約半分の9年間をともに学び、語り合った仲間がいたから今の自分があるのだと感じています。みんな、ありがとう。

これから、仕事を始めたり、自立して地元を離れる人もいるでしょう。どんなに大変なことがあっても、ともに過ごした時間を胸に、一人一人が力強く自分の道を進んで行きましょう。

また、私たちが無事に成人を迎えられたのは、家族、先生方の暖かい支えのおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



村上加奈さん
(伊奈中学校)

本日、無事に成人式を迎えられたことを心からうれしく思います。

晴れて大人の仲間入りをしましたが、このことに自覚と責任をもち、10代とはまた違った覚悟をもって行動したいと思います。まだまだ頼りないことは自覚しておりますが、本日いただいた言葉を胸に刻みながら、これから社会に貢献し、日々精進できる女性になりたいと思います。

今日まで20年間、私を育て、支えてくださった家族や友達、先生方や地域の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして、感謝の気持ちをお伝えします。



山田英崇さん
(小針中学校)

私は、20歳になったら大人の仲間入りをするのだから、心境などに大きな変化があるのだろうと思っておりました。しかし、いざ20歳になってみても10代のころと特に変わらず、社会的には大人と認められる年齢ですが、大人という自覚は全くありません。

そんな私がこの前の選挙に投票したことで、大人になったと自覚しました。初めての選挙なのでとりあえず投票に行きました。正直どの政党がどんな公約なのかよく分かりませんでした。選挙を済ませ、私はもっと考えて投票するべきだったと後悔しました。

大人になるということは、社会に少なからず影響を与える立場になったということであると思います。今後は、大人としての自覚をもち、考え、行動していきたいと思っています。



大里奈緒美さん
(小針中学校)

今日こうして成人式を迎えられたのは、家族、学校、そして仲間や社会のおかげです。これから私たちは大人になり、今度はそのお世話になった方々に社会貢献をとおし、恩返しをしていく番だと思っています。

ここで同じく成人式を迎えられたみなさんに、私の尊敬する五十嵐広行氏の言葉を送ります。『何があるか分からないのが人生。何もしないで後悔するより、一步踏み出して後悔の方が絶対的に何かを得られる』

私はこの言葉のように、前向きな人生を歩んでいきたいです。



菊池友里さん
(南中学校)

本日、晴れて成人式を迎えられたことを心から嬉しく思います。この日を迎えられたのも家族をはじめ、地域の方々、先生方、友人のおかげです。たくさんの人たちに支えられてきたことを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。小学生のころ思い描いていた20歳とは違いますが、大学生活も忙しく充実した毎日を送っています。

まだ、未熟者ですが成人式を機に責任感を強く持ち、自分も人を支えられるようにこれからの人生も笑顔を忘れず、楽しく歩んでいきたいです。



白岩未来さん
(南中学校)

きれいな振袖に身を包み、懐かしい級友とともに成人式を迎えられて大変うれしく思っています。

人生の一つの節目である今、小さいころ思い描いていた20歳の自分とは少し違い、まだまだ未熟な部分が多く、焦りと戸惑いを感じています。不安は多いですが、残りの学生生活をとおし、成人としての自覚や責任を培っていききたいと思います。

今ここに私がいるのは、これまでの20年を支えてくださった先生方や地域の皆様、いつもあたたかく見守ってくれた家族のおかげです。これからの新たな出会いも大切に、新成人として一歩ずつ踏み出していきたいと思っています。

平成24年度
全国中学生人権作文コンテスト
埼玉県大会奨励賞を受賞



小泉 奈々さん
(伊奈学園中学校 / 3年)

作品名「まず人として生きること」

小泉さんはさいたま地方法務局および埼玉県人権擁護委員連合会が県内の中学生を対象に実施した作文コンテストにおいて、入賞しました。

入賞作文は、母親からの一言がきっかけで、人権や自分を見つめることができたことが綴られています。全文は町のホームページ (<http://www.town.saitama-ina.lg.jp>) で公開していますが、ご自宅でインターネットをご利用できない場合は人権推進課窓口でお渡しできますのでご連絡ください。

みなさんも、入賞作品を読んで人権尊重の重要性、必要性について理解を深めるきっかけにしてみませんか。

また、全国中学生人権作文コンテストの入賞作文(一部)を法務省のホームページ (http://www.moj.go.jp/JINKEN/sakubun_23nendo.html) で公開していますので、併せてご覧ください。

図 人権推進課 ② 2 2 4 1

「年末年始特別警戒」出発式

12月1日、上尾警察署「年末年始特別警戒」出発式が上尾市役所を中心に開催され、伊奈町からも地域防犯推進委員や関係団体のみなさんが参加されました。



町民討議会報告書提出

12月21日、町役場において「伊奈町いきいきミーティング2012～町民討議会～」の報告書が主催者である公益社団法人埼玉中央青年会議所から提出されました。

埼玉中央青年会議所では今後もさまざまなテーマを題材に町民参加・町民協働によるまちづくりを推進していく予定です。



消防出初式

1月12日、消防署で出初式が行われました。消防職員および消防団員の入場分列行進から始まり、服装規律点検や野川町長の年頭訓示、消防職員による訓練展示が行われました。



ALT's News World No.45

このコーナーは、小・中学校で英語を指導するALT 3名が毎月交替で担当します。

Groundhog Day

Hello everyone! This is Thomas. Groundhog Day is a popular tradition that is celebrated on February 2nd. It isn't so much a holiday, but a tradition that everyone observes. As with many American traditions, Groundhog Day is based on traditional European practices from long ago. In the past, it was common to use animals to predict weather patterns.

If it is cloudy when the groundhog comes out of its burrow then spring will come early. If it is sunny, the groundhog will see its shadow and go back into its burrow, and winter weather will continue for 6 more weeks. In the morning there are various festivals to watch the groundhog coming out of its burrow. The event is also covered on the morning news.

The largest celebration is held in Punxsutawney, Pennsylvania. Punxsutawney Phil, the most popular groundhog, comes out of his burrow to predict the weather. This event is shown on national TV. In elementary schools it is common for students to make groundhog-themed decorations. It is not a major holiday, but I always like seeing the groundhog make an appearance.

See you next time.

グラウンドホッグデイ

みなさんこんにちは、トーマスです。グラウンドホッグデイは2月2日に行うアメリカの伝統行事です。祝日というよりも行事というほうが意味合いとしては近いのではないのでしょうか。多くのアメリカの伝統行事のように、その由来は昔のヨーロッパから伝わってきたものです。それは昔、一般的に動物を使って天候のパターンを予測していたことに由来します。

2月2日にウッドチャックが穴から出て、もし曇りだったら春がすぐ訪れるといわれ、晴れている場合はウッドチャックが自分の影に驚いて穴の中に逃げ込み、そうすると冬はあと6週間続くといわれる伝説です。その日の午前中にはいろいろなウッドチャックが穴から出るのを見る行事があって、テレビのニュースでも放映されます。

もっとも大きい行事はペンシルベニア州のバンクサトニーで行われます。そこではバンクサトニーフィルという人気者のウッドチャックが天気予測をしに穴から出てきます。その様子は全国のニュースでも見られます。小学校ではグラウンドホッグデイの装飾物を作るのが一般的ですが、大したイベントではありませんが、ウッドチャックの登場シーンはなかなか面白いもので私は気に入っています。

それではまた。

グラウンドホッグ...ネズミ目リス科の最大の動物で、ウッドチャックともいう。

お問い合わせは、教育委員会学校教育課へ (ALT...Assistant Language Teacher)